

# 宿泊税の使途、ぜひ英語教育の充実を

## 町長 質問の趣旨は十分理解した、内部で検討する



議員 繁樹 作井

**作井** 宿泊税導入への本町の事務作業の進捗状況は。

町長 討を進めているが、導入時期については同時期が望ましいと考えており、継続して定期的な情報交換を重ねていく。

**作井** 北海道の進捗状況は。

町長 本町とほぼ同じ導入スケジュールであることから、継続して定期的な情報交換を重ねていく。

**作井** 北海道と本町の重複・同時課税で協議が進められているが、納税者の負担が著しく過重と判断された場合、総務省の不同意もあり得ると考えられる。重複・同時課税ではなく、本町の課税を優先させ、道条例の課税対象地域から本町を除外させることも地方税法上は可能と考

町長 解決すべき行政課題の違いから、両町がそれぞれ検討を進めているが、見解を。

町長 都道府県と市町村の宿泊税の同時課税は全国でも初めてのケースであり、総務省もさまざまな事例を精査、整理しているところ。

**作井** 課税対象地域からの除外は、テクニカル的に、法制度上、可能と理解している。地方税法は、地方公共団体の課税権の調整を担っている、総務省に確認すべき。

町長 リゾート地としての質と魅力を向上させるために、域内交通網整備、二セコ・羊蹄山の環境保全、安全安心なリゾート形成、観光インフラ整備、新幹線を意識したまちづくり施策の実現が求められ、これらの事業に税収を充てることを想定している。

**作井** 北海道との兼ね合い、最初から一緒、同時課税もよいのかもしれないが、時には駆け引きも必要、ぜひ協議すべき。

町長 協議は必要と思う。私も担当者も想いは「除外頂ければこの上ない」だ。

**作井** 京都市の宿泊税では、税収を担い手の育成に充当することが認められたわけだが、本町が検討している具体的な使途は。

町長 京都市の宿泊税では、税収を担い手の育成に充当することが認められたわけだが、本町が検討している具体的な使途は。

**町長** リゾート地としての質と魅力を向上させるために、域内交通網整備、二セコ・羊蹄山の環境保全、安全安心なリゾート形成、観光インフラ整備、新幹線を意識したまちづくり施策の実現が求められ、これらの事業に税収を充てることを想定している。

**作井** 担い手の育成という観点で、

町長 使途の議論は、積上げ作業の真つただ中。質問の趣旨は十分理解した、内部で検討する。

## 一般質問 作井繁樹

ぜひ英語教育にお金を使つてほしい。小中高の連携事業、コーディネートタの person 費などに税収を充てることを検討すべき。

町長 使途の議論は、積上げ作業の真つただ中。質問の趣旨は十分理解した、内部で検討する。



但知安ならではの光景、英語教育の充実は必須